

6. 26 第8回寄席研報告



第8回寄席研は6月26日(木)恒例の新宿末広亭で6月下席の部観賞会を開催しました。今回の寄席はいつもの落語協会の担当ものでした。私は柳家喜多八の落語に興味があったので1時前に入場しましたが、すぐに1階椅子席は満員となる状況でした。会員の参加は6名と、残念ながら前回の10名を下回ってしまいました。

末広亭の昼の部は18組の演者(うち落語が12)が登場しますので、主任(トリ)以外は15分程の持ち時間で、落語をじっくり聴けないのが難点です。今回も林家正蔵(元こぶ平)や鈴々舎馬風(元かえる)とポピュラーな噺家が出演したのですが、いずれも落語ではなく楽屋話でまとめてしまったのは少々残念でした。それでも女性初の真打ち三遊亭歌る多の「庄助鏡」、林家正雀の「空海上人」そしてトリの金原亭馬生の「品川心中」の熱演を楽しむ事が出来ました。

主	太	落	落	物	落	落	曲	落	落	漫	落	落	漫	落	落	壽	音	落
神	ま	一	ご													二ツ	交	
任	樂	語	語	ね	語	お	語	ま	語	語	談	語	語	才	語	語	樂	互語
金	和	吉	林	江	金	仲	鈴	三	入	三	林	林	柳	と	三	古	の	金
原		戸	原	々			船							ん	遊	今	原	原
亭	樂	原	家	家	亭	入	舍	増	亭	亭	家	家	家	ば	亭	亭	だ	亭
馬	社	朝	正	小	世	之	馬	紋	扇	歌	ペ	正	喜	ま	歌	志	ゆ	馬
生	中	馬	雀	猫	介		風	助	遊	多	一	藏	ハ	み	奴	松	き	治
																		吉

昼の部終了後、参加者全員で隣の焼き鳥屋庄助で打上げ会を行いました。関西での生活の長かった井垣さん・野村さんからの、大阪の寄席と東京の寄席の落語と漫才の扱いの違いについての話で盛り上がり、予算を少々オーバーしてしまいました。

参加者:荒木弥栄子・井垣昭・伊藤順蔵・大島二典・野村吉宏・伊藤徹

今回の寄席で心に残ったのは「笑いは副作用のない薬であり、かつ心の栄養剤である」という言葉でした。
担当 伊藤徹

次回は10月頃の開催を予定しております。